

# ～夏季スクーリング～

## 小2

学校生活にも慣れ、勉強にもしっかりと取り組めるようになってきたと思います。そして、学習は続けられ続けるほど、大きな力になっていくこともわかってきたのではないのでしょうか。

夏休みだからといって、勉強をおろそかにすると、せっかく習ったことも忘れてしまいます。この夏でもう一度ふり返り、算数の基礎、文章をよむ力・漢字をしっかり身につけておきましょう！

## 小4

受験学習は4年から始まっています。受験内容は小4～小5でほとんどの学習が終了し、小6では一度習った内容を入試レベルまで引き上げる必要があります。

小4は受験学年のスタートの年として重要単元をたくさん学びます。受験学習の基礎を築く「算数・国語」はいうまでもなく、「理科・社会」もできるだけたくさん解法や知識を身につけておくことが大切です。

## 小6

小学校の集大成として、この夏休みをどう過ごすかは今後の人生の指針に大きく影響していきます。単に5年生からの延長線上ではなく、「絶対に志望校合格レベルまで自分を成長させる」という強い決意が必要です。また、同時に挑戦する気持ちも重要です。入試レベル内容も増え、「難しいな」と捉えるか「これを克服してレベルアップする」と捉えるかで夏以降の入試までの過ごし方が大きく変わります。

## 中2

中学生の中間地点として、志望校について考える時期でもあります。中3を志望校合格に向けて追い込む時期と考えれば、中2は志望校合格に向けてスタートをどれだけ早くきれるかのチャンスとともいえます。

中2内容は入試に出題される単元も目白押しです。学校内容の確実な理解と入試レベルの早いスタートが志望校合格の鍵です。

## 小3

3年生になると、勉強の内容も少しずつひろがってきて、時にはよく考えないとわからない問題に出会うことも多くなってきていると思います。この夏季スクーリングでしっかりと復習しておきましょう。

また、復習問題は発展レベルにも挑戦するチャンスです。考える力、応用力を強化するためにもじっくりと取り組みましょう！

## 小5

受験内容の大半は、小5時に学習します。とりわけ重要度の高い内容を集中的に学習するためにも、この夏の取り組みは非常に重要となります。小6になれば、既に学習した内容の入試レベルを扱います。自分の得意分野と苦手分野を整理し、課題を見つけ、自分が取り組むべき内容をこの夏にどれだけ克服できるかも重要です。

## 中1

中学生になったの初めての定期テスト、いかがでしたか？日々の積み重ねの大切さを理解できたでしょうか。学力はまず、「授業をよく聞く」ところから始まります。そこに「理解しよう」「覚えよう」とする積極的姿勢が加われば、おのずと力はついてくと思います。沖縄県の高校入試は中1～中3の内申点が非常に重要です。この夏にしっかりと学習姿勢を身につけておくことがポイントです。

## 中3

志望校を明確にし、今の自分の課題は何かを考えて過ごす夏となります。1・2年時の内申点が志望校に足りないと感じている場合は、残りの中3時の内申確保はもちろん、最近難化傾向にある高校入試でどれだけ得点できるかも重要です。

“夏を制するものは入試を制す”です。この夏、本気になれば、夏以降の結果も大きく変わります。

# ～特別講座～

充実のラインナップで受験に必要な単元を強化

## 算社講座 <小4>

小4生は、最も復習すべき単元の多い算数と普段疎かになりがちな社会を集中的に学習するプログラムで全体的なレベルを向上させます。算数では、計算の基礎のみならず、線分図や角度など小5・6生でさらに深く学ぶ重要単元を復習することはとても重要と考えます。また社会は知識事項を学ぶのではなく、実際に覚え込むためには、訓練が必要です。定着力を強化しておくことはとても大切なことです。

## 理社講座 <小5・6>

通常、焦点があたりづらい2科目ですが、正確な知識を増やし、解法をマスターすれば、入試において、確実に得点できる部分が多い科目でもあります。

理社講座では、重要単元を集中的に学習し、知識定着の確認とともに、単に知識だけでは解けない問題にも取り組み、総合的な実力をアップさせます。

## 入試模擬特訓 <小6>

夏季講習会の集大成として、現時点での力を確認しておくことは今後の成績向上を図る上においても、大きな意義を持つものだと思います。入試間近の時期に過去の入試問題を体験しておくことは必要不可欠なことではありますが、早い時期に限られた時間の中で確実に得点する意識を持たせることで、志望校合格を意識した学習に転換し、積極的学習への道を開いていけるものと考えます。また、最終日に実施されるテストは結果帳票もお渡しします。夏の時点での実力を把握し、9月以降どのように取り組むべきかの指針となるものです。

## 重点完成講座<中1・2・3> ※TOPIAは中3のみ

成績が思うように向上しない原因のひとつに、重要ポイントをつまかく押さえられないということがあげられます。今までに学習した内容の重要ポイントを押さえつつ、効果的な学習プログラムで指導する講座です。

- ※ 個別指導TOPIAでは中3生をみの開講となります。
- ※ 状況により、テスト対策等も実施致します。

## 算国講座<小5・6>

思考力を特に必要とする算数と国語を集中的に学びます。思考力を養成するには一つ一つの問題をじっくりと「考える」習慣を身につけることが大切です。この講座では、「考える習慣」を重視しながら、さらなるレベルアップを狙います。復習することは単に「分かった」だけでなく「どのように考えると気づけるのか」など新たな視点に気づいてもらうことも本講座の狙いです。

## 適性対策講座 <小5・6開邦・球陽コース>

適性検査は、単なる知識ではなく、記述力、表現力、洞察力なども求められます。適性検査に出題された形式の問題に数多く取り組み、これらの問題パターンに慣れておくことは、実際の適性検査を受検する際に非常に重要です。

通常より難しいレベルの問題となりますが、今までに学習した知識を使い、記述などに慣れていき、適性検査にむけた確かな力を養成する講座です。

## 入試模擬特訓 <中3>

普段学校内容の学習をしても、入試問題レベルを学習する機会はその多くはないと思われます。実際の模擬テストの内容を集中的に学習し、入試レベルの問題を経験してもらう講座です。この経験が、9月以降の学習姿勢を変え、受験を本格的に意識できる講座となり、受験までの時間の過ごし方に大きく影響します。知識面だけでなく、経験面・意識面の点でも重要な講座となります。